

地域と医療で咲くコミュニケーション

# あまが咲

2023  
11月  
No.114

 兵庫県立尼崎総合医療センター  
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

## だより



[部門紹介]

## 化学療法部

[診療科紹介]

## 摂食嚥下サポートチーム

表紙写真撮影/薬剤部 H.H.

- [AGMCニュース] One for all, All for one ～AGMC消防訓練～
- [ぶらり～っと病院探訪] 保育控室(子ども療養支援士室)
- 患者さん・ご家族への病状説明等について
- 引き続き、不織布マスクの着用について
- 病院敷地内禁煙の徹底について

## 外来 化学療法室

# がん薬物治療を受けるあなたを サポートします

2階の外来フロアにある外来化学療法室で、がん患者さんに抗がん剤、分子標的剤、免疫チェックポイント阻害剤などを用いた薬物治療を行っています。医師、看護師、薬剤師、栄養士がそれぞれ専門性を生かしながら連携しています。



### 構成メンバー

医師  
看護師（内 がん化学療法看護CN 1名  
乳がん看護CN 2名）  
薬剤師（内 外来がん治療専門薬剤師1名）  
栄養士  
受付事務職員



### 提供する主な活動内容

1日平均50人、年間のべ12,000人の患者さんが治療を受けられています。院内認定を受けた専門の看護師が、治療がスムーズに進むように、診療科看護師や患者サポートセンターとも連携し、日常生活を送りながらの治療をサポートしています。隣接する無菌調製室に薬剤師が常駐し、投与スケジュールや投与量などをチェックして無菌調製し、味覚障害や体重減少など栄養面に問題のある患者さんには栄養士が指導を行い、チーム全員で治療とケアに当たっています。



### 患者さんや 地域医療機関へのメッセージ

院内紹介のみですが、腫瘍内科医師が外来診療（火・水・木曜日）を行っており、一層レベルアップした薬物治療を提供しています。





## 摂食嚥下 サポート チーム

# ひとりでも多くの人に たべられる チャンスを! 一瞬も一生もおいしく

摂食嚥下とは、『食べ物を認識して、口に入れた食べ物を噛んで飲み込む』一連の動作です。脳血管障害、神経筋疾患、加齢などに伴い、この動作のどこかが障害されることにより、誤嚥性肺炎や窒息等のリスクとなる場合があります。このような摂食嚥下障害を来している患者さんの支援を摂食嚥下サポートチームがしています。



[写真左から]  
吉田看護師／佐賀医師／石橋看護師

### 構成メンバー

医師（耳鼻咽喉科・頭頸部外科、循環器内科、脳神経内科、ER総合診療科）  
歯科口腔外科医師、言語聴覚士、管理栄養士、摂食嚥下障害看護認定看護師、  
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師研修修了者、歯科衛生士



[写真左から]  
浅田管理栄養士／赤荻医師／  
小野歯科口腔外科医師／都倉言語聴覚士



[写真左から]  
浅田管理栄養士／都倉言語聴覚士／安田医師



[写真左から]  
浅田管理栄養士／伊賀田歯科衛生士／長永医師／  
小松言語聴覚士

### 提供する主な活動内容



『摂食嚥下ラウンド』で患者さんの状態を認識し、食事形態や摂食嚥下時のポジショニング、食事介助方法、病棟で実施できる嚥下練習、口腔ケア等についてアドバイスしています。必要に応じて、さらに詳細に状態を把握するため耳鼻咽喉科外来での摂食嚥下機能検査（内視鏡下嚥下機能検査や嚥下造影検査）を行っています。

### 患者さんや 地域医療機関への メッセージ

『摂食嚥下ラウンド』は毎週火曜日に行っています。  
摂食嚥下に関する専門的知識を有した多職種が力を合わせて、ひとりでも多くの患者さんのたべるを支えていけるよう取り組んでいます。





AGMC ニュース



# One for all ,All for one ～AGMC消防訓練～



令和5年9月8日(金)、院内消防訓練を行いました。  
消防訓練として、病棟での火災を想定し、通報・消火・避難を行うシミュレーション訓練と、水消火器・屋内散水栓の操作や避難用救助袋による避難を体験する実地訓練を行いました。



屋内散水栓

**シミュレーション訓練**では、夜間に9階西病棟で火災が発生したという想定のもと、当直医師や看護師長、病棟看護師、防災センター等がそれぞれ役割を担い、煙感知器の発報から消火活動、患者さんの避難誘導まで、一連の訓練を行いました。

発災時に自身はどのような役割を發揮すべきか、また、夜間の人手が少ない状況下で効率よくスムーズに対応するにはどう連携し合うべきか等、参加者それぞれがしっかりと考え、今後の防火・防災体制の向上につながる、実りある訓練となりました。



ストレッチャー搬送

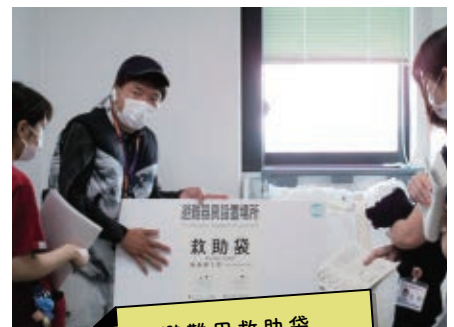
**実地訓練**では、水消火器を用いた消火訓練や、屋内散水栓を用いた放水訓練、避難用救助袋からの避難訓練を行いました。使用方法を実際に体で学んだり、防火・防災設備の位置を確認して効率的な避難経路を練ったりするなど、とても有意義な訓練となりました。



水消火器



屋内散水栓



避難用救助袋

今回の2つの訓練を通じて、それぞれの役割等を学ぶだけでなく、発災時の対応をより充実化・効率化するにはどうすべきかをしっかりと考えることができました。引き続き、こうした取り組みにより、院内の防火・防災体制の充実と向上を図っていきます。



# 保育控室 (子ども療養支援士室)

今回は、子ども療養支援士さんにお話を聞きに「保育控室」へ探訪しました。

子ども療養支援士とは医療を受けられるお子さんの療養生活のサポートをする専門職で、現在日本におよそ25名程度しかおられないそうです。

人形や遊びを通じて、子どもたち自身が自分の病気や治療のことを、自ら「知り」、「選ぶ」。「保育控室」は、支援士さんがそういった子どもの人権を守るための作戦を立てる「作戦室」の趣でした。



イメージ  
しやすいように  
人形や写真を用いて  
手術の説明

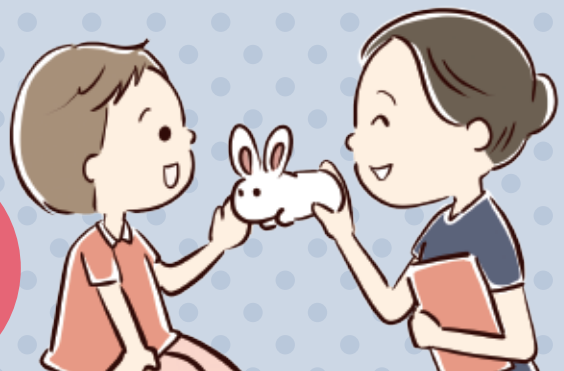
カレンダーは  
療養支援の  
スケジュールで  
いっぱいでした



上垣 支援士  
(中央)と  
実習生

日本ではまだまだ認知度の低い専門職ですが、今後どんどん重要な役割を担ってくると考えられています。探訪時、ちょうど支援士の卵である研修生がおふたり実習をしておられ、「自分自身が入院した時に必要な職種だと思った」「小学生の頃に支援士のことを知って将来の夢になった」と療養支援に対する想いを語ってくれました。

今後もお子さんひとりひとりの声をしっかりと聞くことができる病院でありたいと思います。



## お知らせ掲示板

## 患者さん・ご家族への病状説明等について

日頃は、当院の診療にご協力いただき有難うございます。さて、医師の長時間労働に伴う健康被害が社会的問題として大きく取り上げられ、厚生労働省より、全ての医療機関に対して、「働き方改革」の趣旨に基づき、医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組が求められています。



これを受け、当院の取組みとして、「**患者さん、ご家族への病状説明等**」を「**平日の日勤時間内(9:00~18:00)**」に実施させていただきます。

病状の変化等により診療科から申し出る場合を除いて、患者さん、ご家族の都合による土曜、日曜、祝日、又は時間外の病状説明等のご依頼は、お断りする場合がございますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 引き続き、不織布マスクの着用について



新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類となりましたが、重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、**院内では引き続き、必ず不織布マスクを着用いただきますよう、みなさまのご理解とご協力をお願いします。**

## 病院敷地内禁煙の徹底について

当院においては、法令に基づき敷地内全面禁煙となっています。建物内はもとより、建物外の通路なども含め、敷地内では禁煙を遵守いただきますようお願いいたします。

また、紙巻式タバコ、加熱式タバコに加え、電子タバコについても禁煙の対象としておりますので、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。



編集  
後記

皆さん「西向く士(侍)」って、ご存じですか?これは、31日より短い月を調べるための方法です。12ヶ月の中には、31日の月と30日以下の月がありますが、どの月が31日かそれ以外なのか、覚えていられないですよね。ニ→2月、シ→4月、ム→6月、ク→9月、土→11月(漢数字「十一」を縦にくっつけると「土」)がどれも30日以下で、それ以外の月が31日の月となります。覚えておけば意外と便利です。ただ、やっぱり11月だけ無理矢理な感じが…そんな事を思い出す11月です。(T.A.)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <https://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索